

専門研修のご案内【オンデマンド配信】

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。オンデマンド配信形式で実施します。

* 障害福祉サービス等事業所施設運営費補助金の補助要件となります。

補助要件につきまして、ご不明な点は調布市障害福祉課にお問合せください。



今回、新たに収録した研修の配信、過去に配信した研修の再配信を行います。新たな学びを得たり、学びを深めたりするためにご活用ください。

〈対象〉市内在勤の福祉職。お一人、何講座でもお申込みいただけます。

〈申込み〉右記2次元コードまたはURLからお申込みください。(HPからも申し込み可能)

配信期間になりましたら、動画のURLをお送りいたしますので、アクセスしてご視聴ください。

申込み後1週間以内に事務局から連絡がない場合、お手数ですが福祉人材育成センター

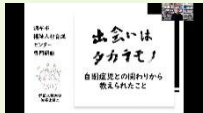
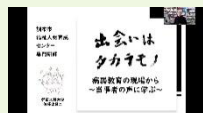
にご連絡ください。

<https://forms.gle/HG6vE3CR4tAwjCQ58>



〈申込期間〉～8月25日(月)

〈配信期間〉6月19日(木)～8月31日(日)

	研修名	内容	講師
①	【NEW】 「出会いはタカラモノ」 自閉症児との関わりから教えられたこと 	特別支援学校の教諭として、自閉症の子ども達に寄り添い続けてこられた佐藤氏が、様々な葛藤を抱えながらも心の支えや折り合いをつける力を身に付け、自ら変わっていく子ども達の姿を通じて、「本当のねがい」に気付いた瞬間について、当時の実際の映像を交えながら話してくださいました。子どもに関わる支援者に限らず、全ての福祉職にとって勇気もらえる研修です。 【75分】	佐藤 比呂二氏 (都留文科大学)
②	【NEW】 「出会いはタカラモノ」 病弱教育の現場から～当事者の声に学ぶ～ 	特別支援学校の教諭として、国立がん研究センターの「いるか教室」を担当した際のお話です。絶望してしまいそうな重い病氣と闘いながらも、力強く生きていこうとする子ども達との関わりから得た「タカラモノ」についてお話いただきました。本研修も、子どもに関わる支援者に限らず全ての福祉職が、他者との関わり方やあり方について、様々な気付きを得ることのできる研修です。 【59分】	
③	【NEW】 発達が気になる子どもの理解と支援 	令和5年度の3月に対面研修で実施した研修を再収録しました。発達に気になる子どもの行動の背景をどのように見立て、支援につなげていくかについて、児童発達支援センターなどで福祉職や保育者と共に、長年活動されてきたご経験に基づいてお話しいただいています。放課後等デイサービスや学童クラブの職員の皆さんに特におすすめの研修です。 【124分 ①48分+②34分+③42分】	市川 奈緒子氏 (渋谷区子ども発達相談センター)
④	【NEW】 傾聴の基本～温かな聴き手を目指して～ 	公認心理師として、2008年から「傾聴の考えを広めることで、より穏やかな社会の実現に貢献すること」を理念とし、傾聴の啓発を続けてきた澤村氏から、「温かな聴き手」になるための傾聴の基本について学ぶ研修です。とても分かりやすくお話しいただいていますので、初めて傾聴を学ぶ方ももちろん、学び直したい方にもおすすめの研修です。 【60分】	澤村 直樹氏 (アクティヴリッスン)
⑤	【NEW】 心理検査(WAIS-IV)を活かすには 	臨床心理士・公認心理師として、子ども発達センター等での支援経験が豊富な梅村氏から、WAIS-IV(ウェクスラー成人知能検査)を用いた心理検査の概要と検査結果をどのように支援で活かすことができるかについて、事例を交えてお話いただきました。支援者が本人理解を深めることはもちろん、本人が自分自身について知るためにも有効な心理検査について、活用上の注意点等も学ぶことができる研修です。 【50分 ①25分+②25分】	梅村 かおり氏 (臨床心理士・公認心理師)

裏面へ

	研修名	内容	講 師
⑥	【再配信】 障害のある子どもの性 ～基本的な理解と支援～ 	皆さんにお伝えしたいことは「性」をあたり前のこととしてとらえてほしいということです。いつの間にか「性」にかかわることは触れにくいことになっており、特に障がいがある子どもたちの性にかかわる動きに対し、否定的な言葉に出会うことが多いです。誰もが「自分」を生きるため、人との関係を築くための大事な「学び」です。大人も「性」を学び合い、話し合うことの中で「子ども理解」や「関係性」が進んでいくはずです。 【63分 ①36分+②27分】	日暮 かをる氏 (元特別支援 学校教員)
⑦	【再配信】 ケアの眼差しとは何か ～ケア実践の根本問題を考える～ 	「ケアの眼差し」とは「ケアの対象者を生活者として知覚し、抱える生活の困難を生きづらさと認識する眼差し」を指します。「ケアの眼差し」を手がかりにしながら、「生活の困難」を理解する基本的視点やケアの担い手に望ましい態度、姿勢などについてお話していただいています。 対人援助の基本となるアセスメントに必要な視点を学ぶことができます。自分のダークサイドを自覚し、「ケアの嗜癖症者」にならないために、自分自身を振り返ることで虐待防止にもつながる研修です。 【55分 ①24分+②31分】	結城 俊哉氏 (立教大学)
⑧	【再配信】 福祉実践の担い手にとって「学ぶ」ということ 	なぜ、福祉職に「学び」が必要なのでしょう。 福祉職が日々の実践から学び続けることの意味について考えることができる研修です。「学ぶ」ことの動機づけが得られる内容になっています。 【47分】	
⑨	【再配信】 改めて自己決定について考える ～自己決定の落とし穴～ 	「自己決定の尊重」はバイステックの7原則にもあるように、ソーシャルワーカーとして大切にしなければいけない考え方です。でも、「自己決定」とは具体的にはどのようなことで、何を大事にすればいいのでしょうか？自己決定の目的化にはらむ問題についてクリアに説明してくださっています。 すべての福祉職におススメしたい研修です。 【79分 ①46分+②33分】	稲沢 公一氏 (東洋大学)
⑩	【再配信】 障害の理解～障害を考える視点～ 	「障害をどう捉えるのか？」について障害個性論や社会モデル、障害の基本理念の変遷などをおさえながら考えます。障害に関する法律上の規定や各障害の特性についてもお話していただきますので、障害について学びを深めたい方は必見の研修です。 【124分 ①33分+②37分+③54分】	山本 雅章氏 (調布市社会 福祉事業団)
⑪	【再配信】 福祉実践におけるまなびとそだち ～見立ての枠組み 4K+1K～ 	ソーシャルワーカーに必要な能力として「見立てる力」に焦点を当てた内容です。見立てるために「①感じる（疑問形式で）」+「②仮説を考える」+「③検証する」+「④気づきを得る」というプロセスを経て、そしてその基盤としての「価値・行動規範・知識」（以上を総称する「4K+1K」）の重要性について具体的に、お話しいただいています。「まなび」と「そだち」のための共通言語としてご活用ください。 【52分 ①29分+②23分】	上村 勇夫氏 (日本社会事業 大学)

【問い合わせ先】

調布市福祉人材育成センター（こころの健康支援センター内）

〒182-0024 調布市布田5-46-1

TEL：042-452-8180（月～金 9:00～17:00）

メール：jinzai@ccsw.or.jp

HP:<https://jinzai.chofu-city.jp/>

